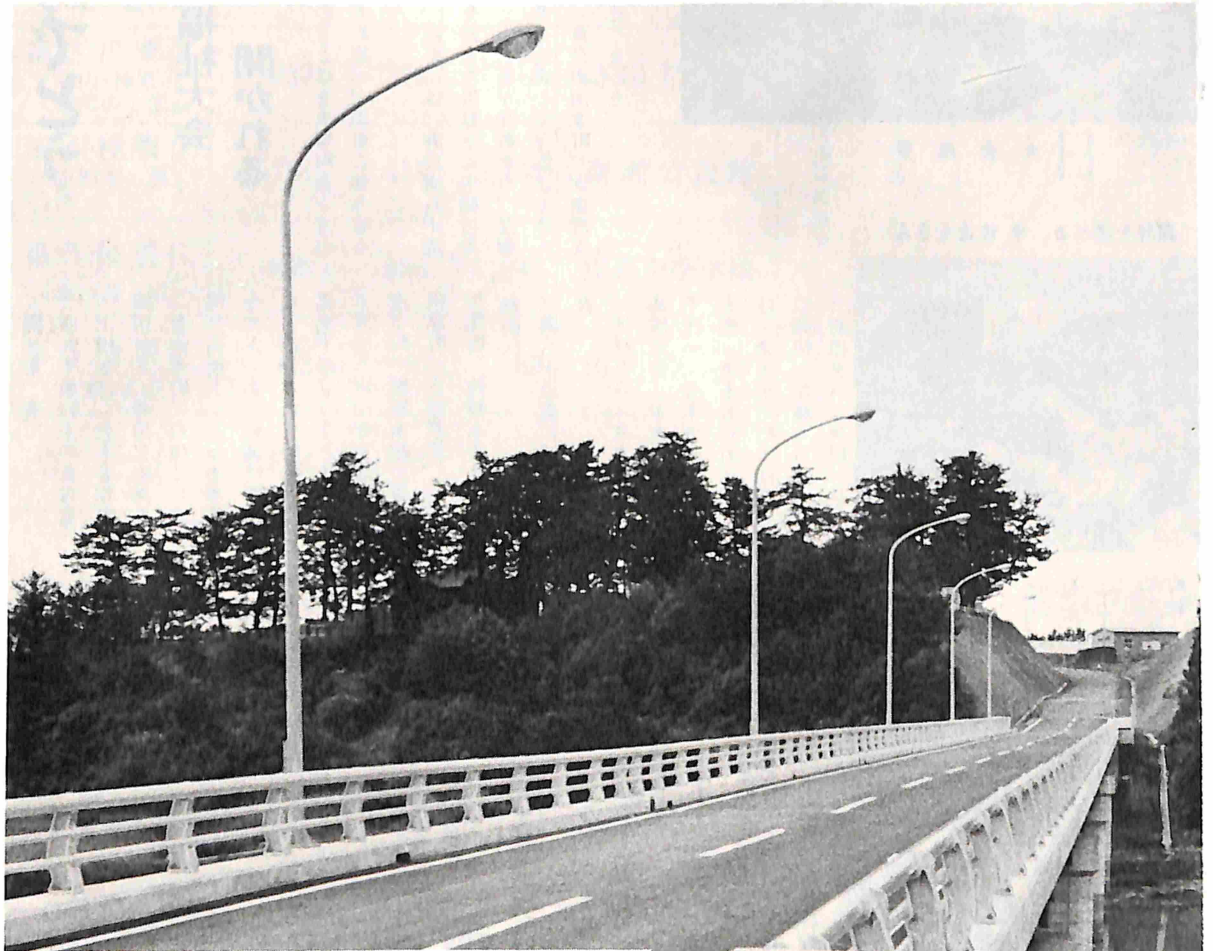


金木 だより

発行 青森県金木町役場
編集 企画 室

昭和54年 9 月号



あしのおおはし 完成

川倉賽の川原と火葬場を結ぶ「あしのおおはし」がこのほど完成しました。

この橋は、川倉賽の川原から芦和線（金木中学校通り）までの農免道路事業により計画され、昭和五十二年より建設を進めていたものです。

これにより、今までは本町から賽の川原の霊園へ行くときは湯の川を通って行かなければならなかったのが、これからは消防署角から一直線に行けることになり、とても便利です。

長寿おめでどう

第十二回 金木町老人福祉大会

開かれる

九月十三日、金木町中央公民館で、第十一回金木町老人福祉大会が盛大に行われました。十時に開会し、修礼のあと開会のことばを金木町社会福祉協議会の夏坂富治氏が述べられ、黙祷国歌斉唱につづいて、主催者あいさつを金木町社会福祉協議会長花田一氏、激励

のことばを大橋町長がそれぞれ述べ、顕彰に移りました。顕彰には、共に満八十歳を迎えた傍島さん夫婦ほか、三十二名が受彰され、受彰者を代表して今佐之七さん(喜良市南本町)が謝辞を述べました。



大会風景

謝辞を述べる 今佐之七さん



(顕彰者)
○満九十歳以上の長寿者
沢田き江(金木若松町)
岡田ソメ(蒔田) 鳴海ちよ
(金木本町) 白川くに(蒔田) 高橋トシ(金木本町)
今サト(あしの園) 鳴海きぬ(嘉瀬本町) 鳴海サヨ(嘉瀬下派立) 今とめ(嘉瀬下派立) 今とめ(嘉瀬下派立) 古川亦太郎(喜良市下町) 桜庭永紀(喜良市川端町) 今運次郎(喜良市川端町) 西村ふよ(喜良市林町)

○満八十五歳に達した長寿者
近村たみ(金木朝日町)
高橋常作(金木寺町) 新岡千代一(金木浦町) 藤井徳太郎(金木若松町) 新岡たけ(金木小川町) 傍島正守(蒔田) 佐藤太郎(蒔田) 前田タコ(神原) 泉谷豊

次郎(川倉湯の川) 新岡よ助(喜良市下派立) 三上ソ(川倉湯の川) 角田勇八(喜良市下派立) 宮崎と(川倉湯の川) 中谷みのり(喜良市野崎)
川倉林下) 竹内正雄(藤枝) 〇満八十歳に達した長寿者
(白川そで(あしの園) 高橋一(嘉瀬東町) 今佐之七(喜良市南本町) 大橋忠田) 傍島正守・リツ夫妻(蒔田) 夫婦

助けあい励ましあう愛の広場

第一回北郡老人スポーツ大会

開催される

参加者は六百名

晴天に恵まれた九月九日、金木町芦野グランドにおいて、第一回北津軽郡老人クラブ連合会スポーツ大会が開催されました。日ごろ家にとじこもりがちなる老人に、太陽の下で動いてもらおうということ、北津軽郡老人クラブ連合会主催のもとに行われたこのスポーツ大会、北郡各町村より約百

名ずつ合計六百余名が参加しており、これほどの人数が一同に会しての大会は県内でも初めての試みとか。大会は九時三十分の開会され、各町村ごとに堂々の選手団入場のあと、連合会



堂々の入場(金木)



びんつりりレ

長あいさつ、大橋町長歓迎のことば、北村知事・県議会議員からの祝辞があり、競技に入りました。競技は風船割りりりレ・スプーンリレ・ボール送り競走・瓶つりりレ・玉入れ競走の五種目で、見物人の歓声をうけておじいさん・おばあさんも大奮闘。まだまだいけるぞ、とゴールにかけこむおじいさんの顔には、若い者に負けてたまるか、という熱意がうかがわれました。結果は、一位鶴田町、二位小泊村、三位中里町でしたが、この日見せた元気でもっともつと長生きをしてもらいたいものです。

衆議院議員 総選挙

10月7日投票日

—あなたの一票で—
よりよき社会を—

十月七日は、衆議院議員 総選挙の投票日です。大切 なあなたの一票を無駄にし ないよう、必ず投票しまし ます。

今年、オイル・ショックの年です。白灯油やガソリンなど、みなさんの生活

の投票率を見ますと、昭和四十二年で81%、四十四年73%、四十七年74%、五十年が65%と下降線をたどっています。これは、みなさんが国の選挙にいかに関心であるかを示しています。

投票区別有権者数

区分 投票区	男	女	計	投票所
第1投票区 (金木・沢部の1部)	1,870	2,165	4,035	金木町役場
第2投票区 (川倉・藤枝)	492	525	1,017	川倉小学校
第3投票区 (蒔田・神原・沢部の1部)	239	279	518	蒔田児童館
第4投票区 (中柏木・嘉瀬)	1,314	1,416	2,730	嘉瀬公民館
第5投票区 (喜良市)	895	956	1,845	喜良市小学校
第6投票区 (大東ヶ丘)	42	40	82	山の家
合計	4,852	5,375	10,227	

(S54・9・10現在)

新有権者

感想文募集中

〔提出先〕

金木町選挙管理委員会

〔入選発表〕

昭和五十五年一月、本人に通知する。新聞発表等は

一月十五日(成人の日)に行う。

〔賞〕

最優秀 一篇 五万円

入賞 五篇 各三万円

佳作 若干 各一万円

〔表彰〕

最優秀・入賞の六篇の入

選者に対して自治大臣賞状

を本人に直接、自治大臣より授与する。

〔応募上の注意〕

○応募者の住所、氏名(フリガナ)、性別、生年月日

および職業を原稿の末尾に

明記すること。

○作品は未発表のものとする。

○募集を知った媒体名(新聞、ラジオ等)を記入すること。

※詳しくは選挙管理委員会へお尋ね下さい。

最高裁判官の 国民審査も同時に

当日不在の方のための不在者投票は十月六日まで、午前八時半より午後五時まで町選挙管理委員会を受けつけています。

総選挙と同時に、最高裁判所裁判官の国民審査が行われます。これは裁判官を罷免させるかどうかを投票

によって決めるものです。

投票する方は、やめさせたいと思う人に×印を記入し

よいと思う人にはなにも書かないで投票して下さい。

また、投票しない人は用紙をもらわないで下さい。用紙を持ち帰らないで下さい。

紙を持ち帰らないで下さい。

紙を持ち帰らないで下さい。

紙を持ち帰らないで下さい。

紙を持ち帰らないで下さい。

紙を持ち帰らないで下さい。

紙を持ち帰らないで下さい。

紙を持ち帰らないで下さい。

紙を持ち帰らないで下さい。

成人を迎えた人または迎える人の、新有権者としての感想、または選挙を経験したことなどにより地方自治や国政への参加について感じたことなどの感想文を募集中です。

これは、自治省と(財)明るい選挙推進協会が主催して、新有権者の政治や選挙に対する意識の高揚を目的に毎年行っているものです。

応募資格などは次のとおりです。

〔内容・標題〕

内容は前文のとおり。標題は、内容にふさわしいものとする。

〔字数〕

二千字以内(四百字詰原稿用紙五枚程度)

〔応募資格〕

昭和三十四年一月一日から同年十二月三十一日まで

に生まれたもの。

〔締切期日〕

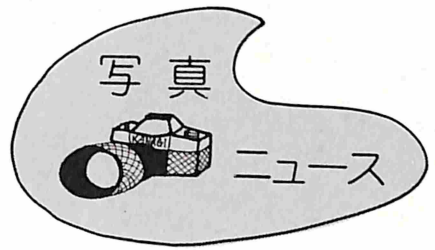
十月三十一日まで(当日消印有効)

消印有効)

消印有効)



←
建設中の総合小学校の北側校舎が完成し、二学期より使用されています。工事は北側に取りかかっています。



9月3日、金木町赤十字奉仕団の総会が行われました。本年度の事業について話しあわれました。



←
同日、中央公民館では金木地区理容組合による理容技術講習会が開かれました。ニューヘヤーの研究に五十名が参加。



(3保、たけ組のみなさん)
(蒔田児のみなさん)



わたしたちを
交通事故から守ってね!
(その2)



(1保、ばら組のみなさん)
(川倉児、ちゅうりっぷ組のみなさん)



長富溜池の浮島

へさても不思議な長富溜池
池の真中に浮島ありて
風の吹くたび
ヤレ西東……

始されたのである。長富の溜池、嘉瀬の清久溜池、金木の藤枝溜池、大沢内の溜池、高根溜池など、いづれも大変な大仕事であった。

これは津軽ジョンガラ節の唄の文句で、津軽七不思議の一つとされている長富溜池の浮島を唄ったもの。ころは元禄十四年、といえは忠臣蔵のようだが、この年津軽藩は金木新田の開発がようやく完成近くなつて、用水の溜池をつくるために堤防築堤の大事業が開

当時は現在と違って、機械力も道具もなく殆んど人力であった。土を運ぶ道具にしても、柳の枝や熊笹で作ったエビ、縄モッコが最も良のものであったろう。もちろんスコップがあるわけがない。田仕事に使う鍬と木で作ったケンシキのようなもので作業したと思うが

その労力は大変なもの。苦心さんたん、ようやくよく出来ると、今度は大雨が降るたびに、東風（やませ）の波にたたかれて決壊する。恐らく長い年月の間には何十回となく堤防が破られ、こわされ、その度毎に百姓たちはどんなに難儀したことが知れない。

こうした惨めな繰り返しが百年もの長い間続いたのである。その頃、津軽藩中である事件が起つた。そしてこの事件に巻き込まれた新岡某という藩士が、高根村に流地となつた。数年後に許されて、長富開村の役を仰せつかった。

この人物は、すぐれた智恵の持主であった。彼は、人夫をかり集めて、山から生柴（なましば）を伐り出させた。柴の細いなま木である。これを藤藎で編ませ柴の束（たば）をたぐさん作らせ、それを溜池の水面に浮ばせた。これが防風に変な効果をあげたのである。

どんなに強い東風が吹いても、大嵐になつても、柴の束が波に乗って移動するので、堤防の決壊はなくなった。新岡某はこれを金木組の五カ所の溜池全部にやつた。そのお陰で、長い間難儀した東風による被害が防禦できたのである。

東が、渴水期に水がなくなると堤の底の泥と共に沈みそれに色々な草の実が飛んで来て根を張り、やがて経て浮島となつたのだといわれている。

そして唄の文句のように津軽の七不思議の一つといわれるようになった、というわけである。古人の智恵の偉大さに今更頭がさがる。

水門の西方に生える老松は、新岡某が堤防守護を祈願して碑を建立した際に植えたものと伝えられている。現在高根に居住している新岡二郎さんは、この方の子孫であり、また金木町の建設業新岡佐兵衛の長男新岡正海さんも一族の流れをくむ方と聞いている。

（「金木郷土史」より）

時効保険料の特例納付

— 今一度加入期間の確認を —

時効によって保険料を納めることができないう期間があるため、将来無年金者となる人を対象に、昨年の七月から来年の六月まで二年間特例納付が実施されています。

この措置は今回限りで二度とチャンスはきません。次のことを今一度確認して、該当するときは、急いで町民課国民年金係に手続きしてください。

○ 国民年金に当然加入すべきなのに加入していなかった人。

○ 国民年金に加入している

が保険料を滞納し、免除を受けないままにしていたために、時効となつた未納期間がある人。

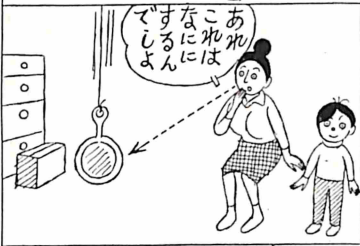
○ 現在は国民年金以外の公的年金（厚生年金等）の加入者、又はその配偶者で、過去に国民年金に当然加入すべきであった期間がある人。

※特例納付額は月四千円です。取扱期間は、来年の六月末までとなっていますので今一度加入期間を確認しましょう。

泰平一家

志呂比木 木林 木人

10月10日は目の日です



「行政相談週間」御存知ですか

十月十四日から二十日までの一週間は、「行政相談週間」です。

国の国鉄・電電公社・専売公社・公庫・公団・事業団の行っている仕事や県・市町村が国から委任されている仕事、国からの補助金を受けている仕事などについて、

①仕事をこのようにしてほしい

②仕事が遅れている

③仕事が間違っている

④手続きがわからない

⑤役所の職員から不親切な扱いを受けた

⑥説明などに納得がいかない

などの苦情・要望は青森市

内にある青森行政監察局か行政相談委員の田村雄三さん(小川町)が受付けています。

申し出は、直接おいでいただくか、または手紙や電話でも結構です。

行政管理庁では、これらのことを一般の方々に理解してもらうために、毎年十月の第三週を「行政相談週間」とし、この制度の普及

啓もうに努めています。

この「行政相談週間」の期間に住民の生活に最も身近な仕事をしている行政機関が一堂に集まり、直接苦情などを受付けて、解決をする「一日合同行政相談所」を十月十六日(火)青森市民会館で催します。相談は無料で、秘密は絶対に守ります。お気軽に御相談ください。



(八月届出分)
小野 準也(正) 金木
下山 貴子(康彦) 金木
小野 夏樹(拓男) 喜良市
澤田 良(久) 嘉瀬

長谷川 潤(武美) 金木
吉田 壮志(隆雄) 金木
棟方 広樹(武美) 嘉瀬
工藤 克美(渡) 金木
土岐 静子(淳逸) 嘉瀬
白川 真紀子(寛) 川倉
北川 大助(大成) 金木
対馬 充洋(豊) 金木
坂本 深雪(一志) 藤枝
沢田 雅彦(正) 嘉瀬
松田 憲昌(豊) 金木
白川 敦朗(勝一) 川倉
米谷 修一(日出明) 喜良市
今 幸則(武則) 金木
藤元 新(清則) 喜良市
沢田 大介(孝夫) 金木
白川 香奈子(忠治) 川倉



(八月届出分)

外崎 拓(勝一) 嘉瀬
竹内 和子(克己) 中里町
工藤 晃一(源蔵) 藤枝
葛西 敦子(すみ) 藤崎町
前田 喜一郎(金太郎) 神原
三上 ゆう子(正敏) 柏村
葛西 茂勝(由吉) 中里町
伊藤 和子(儀市) 金木
下田 孝(才治) 秋田県
大橋 啓子(忠左衛門) 喜良市
小椋 武男(洪) 愛知県
福山 圭子(清蔵) 金木

男	7,252人
女	7,448人
計	14,700人
世帯数	3,890世帯
(S54.8.31現在)	

山中 篤(イマ) 嘉瀬
高橋由美子(八郎) 宮城県
松川 清男(万四郎) 嘉瀬
工藤 昭子(ミエ) 五所市
白川 喜美雄(喜八郎) 金木
小関 厚子(文敏) 柏村
塚本 正行(ハル) 秋田県
須藤あき系(慶二) 金木



(八月届出分)

羽賀 國雄(83) 金木
川口 ミヨ(81) 蒔田
伊藤 定五郎(69) 嘉瀬
長内 タカ(68) 金木
鳴海 ちせ(95) 金木
今 ち七(74) 喜良市
渡辺 豊巳(64) 嘉瀬
安田 タヨ(68) 嘉瀬
吉崎 専四郎(78) 嘉瀬

編集後記

今年ももう収穫の秋になりました。農家のみなさんは毎日、野良仕事に汗を流していることでしょう。

さて、実りの秋。秋の味覚はいろいろと豊富にあります。古くから庶民に親しまれた味覚の味はクリでしょう。

最近では、食用より和菓子の材料として人気が高まり、クリ拾いも大人の郷愁にすぎなくなっています。

ニホンクリの品種は二百にもなりますが、近年、改良がすすみ大粒の優良種が生まれ、「銀寄せ」「丹沢」「筑波」などが主流だといわれています。これから十月上旬にかけてが収穫の最盛期に入ります。クリはつやつやして虫食いのないものがよいとされています。焼きグリ、蒸しグリ、クリ飯、クリおこわと用途は広いものです。